

U10 奈良ジュニアサーキットについて

【趣旨目的】

ドロー数(試合に出場するジュニアの数)が少ない奈良県は、県内での競争が少ないため、競争力の高い関西や全国の舞台では苦戦を強いられているという現状があります。

また、全日本ジュニア大会へ繋がる、関西ジュニア予選大会への出場枠は、各都道府県のドロー数(出場者数)に応じて振り分けられることから、奈良県の選手は常に関西ジュニアへ挑戦できる出場枠も、他府県に比べて少ないのが現状です。

そこで奈良県15歳以下のジュニア強化委員は、2014年度より10歳以下の公認大会を設置し、普及・育成に向けて取り組んだところ、12歳以下のドロー数が兵庫、大阪、京都に続く、ドロー数となり、低年齢において、県内でも切磋琢磨できるようになってきました。

これらの取り組みより、12歳以下の選手が関西ジュニアでも輝かしい成果を上げてくれています。

2021 年も引き続き、低年齢の強化育成と同時に、「出場者の増加に合わせて、出場者のマナーとモラルの向上」を重要視しています。

一人でも多くの選手がエントリーすることで「少人数で競争力の低い奈良県」から、競争力が高い、層の厚い奈良県にしていきたいと考え、U10の活動がスタートしましたが、その成果は着実に表れてきています。

昨年度は奈良県から全国優勝する選手が出てきて、12 歳以下の関西ランキングでも上位に奈良県の選手が複数人食い込めるようになってきました。またエントリー数は、他府県よりも大幅な伸び率を残しています。「テニス強県奈良」が少しずつ現実のものになってきている手ごたえを感じています。

そしてその先には、ソフトテニスのように「テニス強県」として全国で戦っていける総合力を養っていきたくて考えておりますので関係者様、コーチの皆様、そして保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

【奈良ジュニアサーキット大会の目的】

(1) 低年齢での育成

現在、奈良県における 12 歳以下のドロー数はまだまだ少なく、他府県と比較してみると、強豪県と呼ばれる県との差は、競技成績にも影響しています。そこで、奈良県においても 12 歳以下での競技人口の増加を視野に入れた 10 歳以下の低年齢期での大会を設置することで、早期に試合に出場する競技者テニスに移行できると考えています。

(2) 地域の活性化

低年齢期での競争力の強化を図ることは、現在スクールに通う子供たちへの目標設定としても効果を持ちます。グリーンボールを使用することで、10 歳以下の技術が未熟な子供たちでも、ゲームを楽しむことが可能になり、テニスへの新しい興味の要素が増えると考えます。また民間企業の協力により、各地域や各スクールに応じた大会を実施出来ることは、地域ジュニアの普及・育成にもつながります。

(3) ゲーム能力の向上

奈良県以外の各都道府県においては 10 歳以下の大会などを設置し、低年齢から競争をおこなっており、その低年齢強化への流れは、10 歳以下のプレイ&ステイプログラムの普及とともに加速しています。プレイ&ステイのボールは通常ボールよりも弾みやスピードを抑えられるため低年齢においても、十分にゲームを楽しむことができ、またテクニックを磨くことができます。低年齢から試合環境を設置し、戦略・戦術の要素を持ちながら、必要なテクニックを磨いていくことにより、U12の競技力の向上に繋がります。